

育もう教育と文化

令和5年度活用報告

教育応援分 2,200 千円 (軽井沢風越幼稚園)

軽井沢風越幼稚園は、2020年4月に開園した幼稚園です。義務教育学校である軽井沢風越学園と校舎を一つにし、3歳から15歳の子どもたちが異年齢の関わり合いを大切にしながら、じっくり、ゆったり、たっぷり、まぎって、遊ぶ／学ぶ体験を積み重ねています。59名（2023年3月末時点）の園児は、雨の日も風の日も、一年を通じて野外で生活しています。

今回のふるさと寄附金のご支援は、森と校舎に挟まれた園庭環境の充実を目的として、子どもたちが自然とまぎりながら育つ環境づくりと、その学びを支える職員の育成に取り組みしました。環境整備では、パーマカルチャー・デザイナーの四井真治さんをパートナーに迎え、保護者の方たちと共に外環境整備ワークショップを行い、柳を使った遊び場をつくりました。さらに、登園道づくりや川の補修などを全6回のワークショップ形式で行うとともに、フィールドワークを重ねながら園庭の将来像を描くランドデザインをまとめました。

また、楓企画の協力のもと馬耕体験を実施し、馬の力を借りて来年のための堆肥づくりや新しい畑の開墾、森の中の丸太の搬出などを行いました。職員研修では、小西貴士さんを講師に迎え、「自然の中で何が育っているか？」をテーマに、学年ごとに子どもたちのエピソードをまとめながら、年間を通して学びを深める研修を行うことができました。

子どもたち一人ひとりの成長を丁寧に見守りながら、日々の幼稚園運営に努めて参ります。多くのご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



教育応援分 532 千円 (森のようちえんぴっぴ)

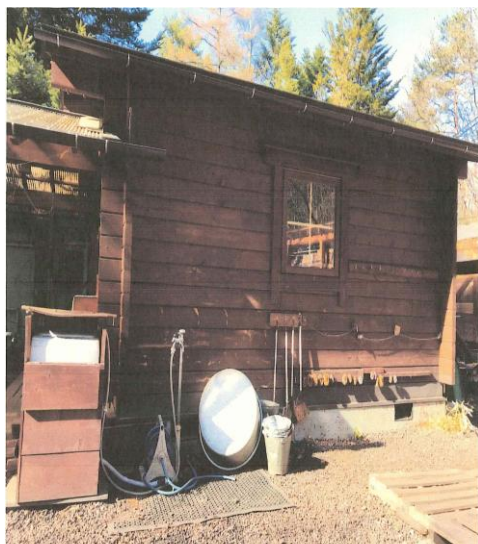
自然豊かな軽井沢で2007年4月に小さな一歩を歩み出した森のようちえんぴっぴ。園舎がないぴっぴの子どもたちは、雨でも雪でも一日中、森の中で夢中になって遊んでいます。物が無い分、たっぷり関わり、たくさん困って、たくさん工夫して…が日常です。

簡易的であった水道を洗い場として整備できたことで、一度に手洗い利用ができる人数が増え、手洗い場に列をなすことが軽減できたことにより、保育時間の有効活用に繋がりました。

更に温水も利用できるようになったことで、屋外活動での激しい汚れを落としたり、保育の中で温水が必要な際にも手軽に利用する事が可能となり、保育の円滑化にも寄与しています。

寒い冬の時期の屋外保育にも温水が利用できることは大変ありがたく、今後益々保育の幅も広がることが見込まれます。

多くの皆さまからのご支援に心より感謝申し上げます。これからも子どもたちの生きる力を育む「ぴっぴの森」を守っていきたいと思います。機会がありましたら、ぜひ、ぴっぴの森にいらして、伸びやかな子どもたちと過ごし、心込めて調理しているランチを召し上がって頂けたら、と思います。今後ともよろしくお願いいたします。



手洗い場設置前



手洗い場設置後

教育応援分 95,000 円 (軽井沢西部小学校)

【みんなが楽しめる砂場作り】

西部小学校には砂場が無いので、校庭南側に砂場作りを行いました。

砂場で砂や土で遊ぶ中で、友とかかわりながら造形活動を楽しんでほしいと思っています。

今回の「教育応援分」補助金は、業者による表土掘削、処分に使用し、掘削したところを見ながら職員は児童とどのような砂場を作ってくか、どのような造形活動をしていくか楽しみに構想を練っています。



育もう教育と文化

令和5年度活用報告

教育応援分 10,850 千円 (軽井沢風越学園)

軽井沢風越学園は、2020年4月に開校した義務教育学校です。軽井沢風越幼稚園と校舎を一つにし、3歳から15歳の子どもたちが異年齢の関わり合いを大切にしながら、じっくり、ゆったり、たっぷり、まぎって、遊ぶ／学ぶ体験を積み重ねています。義務教育学校では、前期課程（1年生～6年生）155名、後期課程（7年生～9年生）66名、合計221名（2023年3月末時点）の児童・生徒が在籍しています。

今回のふるさと寄附金のご支援は、多様な子どもたちの学びを継続的に支えるため、「授業料等減免制度」の原資として活用させていただき、2023年度は20名の子どもたちの授業料等を減免することができました。

子どもたちが自分の未来を自分で決めていくことができるよう、その成長を見守りながら、日々の学校運営に努めて参ります。多くのご支援をいただいたこと、心より感謝申し上げます。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



教育応援分 156 千円 (軽井沢高等学校)

学校ホームページの制作

本校のホームページの改修を実施しました。トップページについて、大きな写真を掲載し、学校概要、学校生活、進路状況、入試情報といった入口を整理。本校の特長である軽井沢町学習センターや探求学習等を紹介する入口を掲載するなど、分かりやすい情報発信となりました。また、複数の教員が入力可能なシステムとすることによって、タイムリーな発信が可能となりました。



教育応援分 600,238 千円 (ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAK ジャパン)

UWC ISAK は世界中の高校 1～3 年生を対象とした、国際社会で変革を起こせるようなチェンジメーカーを育成する全寮制国際学校です。2017 年 6 月に初めての卒業生を送り出し、同年 8 月には「世界の平和と持続可能な未来を実現するために、教育の力で世界の人、国、文化をひとつにする」ことをミッションに掲げ、50 年以上の歴史を持つ国際的な民間教育機関である United World College に正式に加盟しました。2023 年 8 月より 10 年目を迎え、世界 80 カ国から集まった約 200 名（10 年目開始時点）が、国籍だけでなく社会経済的にも様々なバックグラウンドの違いを乗り越え、たくさんの刺激を与え合っています。

ふるさと納税を通じたご支援のお蔭で、今年も半数以上の生徒に対してそれぞれの経済状況に応じた奨学金を給付することが出来ておりますことを、皆様に改めて御礼申し上げます（ふるさと納税を含む全体では、約 7 割の生徒に奨学金を給付）。能力とやる気があり、強い目的意識をもつ全ての若い人達にチャンスを与えられる学校になるために、皆様からお預かりしたご寄付は今後大切に奨学金基金として使わせていただきます。

これからも、地域社会に貢献しながら、新たなフロンティアに臨み、時代を切り拓いていく生徒たちを育成できますよう、たゆまぬ努力を重ねてまいります。

また、令和 6 年 12 月には以下に掲げる 2 つの施設が完成する予定です。

1) Koshiba Innovation and Creative Center

授業で使用する教室の拡充に加え、芸術・創作に関連する授業をこの建物に集約することで、生徒のよりクリエイティブな学びに繋がる校舎。

2) Taniya Lodge-Health and Wellness Center

保健室、カウンセリング室、トレーニング室を集約し、生徒の心と身体を包括的にケアし、健康の充実を図る施設。

皆様からのふるさと納税を通じたご支援のおかげで、より充実した教育施設を建設できますことを改めて御礼申し上げます。

世界中で分断が深まる中、東欧や中東のみならず、世界中から集まった生徒たちに、持続可能な平和な未来に向けたより質の高い教育を提供できる学校となるよう努めてまいります。

これからもどうぞよろしくお願い致します。



(写真上部)
Koshiba Innovation and Creative Center



(写真下部)
Taniya Lodge
- Health and Wellness Center-



教育応援分 13,145 千円 (国立大学法人信州大学)

【医療・健康研究とこれを通じた教育】

軽井沢町との共同研究として進めている「軽井沢検診」を、引き続き開催しました。獲得された住民データは、今後の分析を通じて、認知症の有病割合や発生率を明らかにするために活用される予定です。

そして、地域データ獲得と解析を実施するこの「軽井沢検診」は、地域課題としての運営や現場の問題を、AI 技術を活用して解決できる人材の育成にとって、格好の素材となることから、こうしたトピックを授業カリキュラムに取り入れるべく、体制構築を推進しました。

【AI 教育・研究】

AI 人材の育成・教育を目的とした種々の授業を、軽井沢において実施するためにも活用しました。令和 5 年 9 月には、文部科学省知識集約型社会を支える人材育成事業のプログラムオフィサーである松野浩嗣氏（山口大学理事・副学長）や、日本学術振興会の職員を来賓に迎え、学生たちによる、AI を活用した事業・政策のアイデアコンテストが開催されました。

【中学・高校との連携】

軽井沢高校の生徒と、大学生・大学教員の交流を促すと共に、AI の利活用に関する講義を開催するための施設として、ラウンジスペースの整備を行いました。加えて、従来の 1 大学 1 高校の連携モデルにとどまらず、信州大学社会基盤研究所が既に連携協定を結んでいる風越学園や ISAK とも連携し、より魅力的な AI 人材教育・研究への展開として、柔軟な、かつ町レベルでの中高大連携モデル実現に取り組みました。

